

地域情報誌
2013年6月
(No9)

DE すがね

〈編集・発行〉 生きがいのある須金をつくる会



(須金名物、石引さんのドラム缶ピザ)



(即完売！須金ガールズバーガー)



(大人気だったラフティングボート)



(須金サポーター登録所の様子)



農ganic Festa 2013 開催！& 「ほたるのすがね」 イベント告知

今年も農ganic Festaが盛大に開催されました！本当に多くのお客さんが来てくれて、話題の須金ガールズバーガーは、あっという間に完売でした。豚の丸焼きも、ドラム缶ピザも、Bambooカレーも、よもぎパンも、梨ケーキもみんな完売！

体験コーナーも、ラフティングボートでの錦川下り、ツリークライミング体験には長蛇の列。参加した子どもたちも大喜びでした。

たくさんの方の、たくさん笑顔に出会えた、とてもいいイベントとなりました。支えてくださった地域の皆様にも、この誌面をお借りして御礼申し上げます。

そして、須金リボンプロジェクト第2弾、「ほたるのすがね」今年もやりますよ！なんと6月14日から23日までの10日間開催します。去年とても好評だったため、期間を延長しました。ラフティングボートに乗って水面から眺めるホタルは言葉にできないくらい幻想的！土曜の夜は混雑すると思いますので、平日をお勧めします。

(文/福田陽一)

「DEすがね」はパソコンでもご覧いただけます。以下のアドレスへアクセスしてください。

→ 周南市コミュニティ推進連絡協議会ホームページ <http://gokan-furusato.org/community/community.html>

人物紹介 須田加弥子さん（中原）



写真：おべんとうやBambooにて

Q 1. 須金に引っ越されるまでのことをお聞きしていいですか？

A 1. 千葉県松戸市育ちの、ちょっと気が短い子でした（笑）

高校は青山学院高等部に通っていたのですが、一級上に市川海老蔵、同級では井上陽水やイルカの息子さんなんかも一緒だったんですよ。

短大を出て一度就職した後に、靴づくりの専門学校に通い、靴の企画のお仕事をしていました。

Q 2. 学生時代にはダンスに打ち込まれたと聞きました。

A 2. 中学ではバレーボール部でしたが、高校からダンススクールに通い、ヒップホップダンスやジャズダンスをやっていました。

大学でダンスサークルに入りましたが、主人とはそのサークルで出会いました。当時は主人もブレイクダンスをしていて、頭でくるくる回っていましたよ。（笑）

Q 3. ご主人の浩史さんの第一印象は？

A 3 「素朴だな～」と思いましたね。当時もメガネはかけていましたが、今よりもう少しマシなメガネでした。今は、タイガーウッズに似ているとよく言われるらしいですよ。（笑）

Q 4. お弁当屋さんを始められたそうですね。

A 4. まだまだ手探りで、まずはイベントや農園のシーズンに、ふれあいプラザ須金などで販売しようと思っています。

野菜を中心に、いずれは須金の皆さんが、畑で作られたものでお弁当を作られたらと考えています。お弁当の他には、ルーを使わないで、いろんなスパイスを調合して作るオリジナルカレーも販売したいと思っています。

Q 5. 須金で暮らして約2年。生活はどうか？

A 5. 子供が小さいので病院が遠いのが気になりますが、子育てにはとてもいい環境で、自分も楽しんで生活しています。子供には育っていく中で、自分で生きていく力を養ってほしいですね。

（インタビュー：須金公民館 周山健太郎）

春祭りレポート



（厳肅な雰囲気の中で行われた神事の様子）

5月5日は、亀山八幡宮の「春祭り」でした。このお祭りは、自然の恵みに感謝し、地域の人々の幸せを神様にお祈りする大切なお祭りです。同日開催の農ガニックフェスタの喧騒とは大違いの静けさの中、宮司さんの祝詞と神主さんの太鼓の音が響き渡ります。厳肅な雰囲気背筋が伸びます。

その後、餅まきがありましたが、競争率が低かったようで、参加者はたくさん餅を拾えて、皆さん満足気な様子でした。最後に、宮司さんに教えてもらったマメ知識。神社のお祭りの中で、春と秋のお祭りは「例祭」「大祭」と呼ばれ、最も重要なお祭りなのだそうです。だから先日、閣僚達が靖国神社を参拝したりしていたのですね。今回の春祭りに参加できなかった方は、次の秋祭りにはぜひ参加しましょう。（文/山縣 聡）

DEすがね編集委員、大津島へ

3月24日、須金と大津島のコミュニティ誌編集委員交流会を行うため、大津島へ行ってきました。今回の交流会は、大津島のコミュニティ誌「潮流」の編集委員である末兼正純さんが、DEすがね1周年記念号へお祝い文を寄稿していただいたのがきっかけ。



(写真：全員で記念写真)

やりとりの中で、特色あるコミュニティ誌を作っている地区同士で意見交換会・交流会を行い、よりよい誌面作り、さらには合併号を作ろうということで今回、開催される運びとなりました。交流会の詳しい内容は、今後発行予定の合併号にて報告します！

さらに、秋には潮流メンバーに須金へ来ていただくこととなりました。今回、本当にお世話になったので、その際は大いに歓迎したいと思います。お待ちしております！

(文/須田浩史)

地区歓送迎会、盛大に開催！

5月13日、須金公民館で学校等の各機関の異動者8名と移住された2世帯の地区歓送迎会が行われました。

広実力君（上市）がUターンで戻ってきたことで子どもが増え、毎年の歓送迎会の度に、子どもの数が増えてきています。ちなみに、来年度の小学校入学予定者は4名で、全校児童が8名となるかもしれません。須金地区に子どもの声が響き渡るのが楽しみです。



(写真：歓迎の挨拶をする河村PTA会長)

新たに「須金人」となった方々も、地元の方々の優しさや暖かさに触れて、決意も新たに晴れ晴れとした表情でした。また転属となった方々には、心より御礼申し上げます。須金での思い出を胸に、今まで以上にご活躍されることをお祈り申し上げます。

(文/大木賢一)

ふれあいプラザ須金が5月からオープン！

店内もリニューアルされ、日用品や食料品の取り扱いも始めました。6月からは酒類販売も行います。地域の「ふれあい」の場としての機能も充実していきたいと思えます。

もちろん従来通り、梨・ぶどうのシーズンには直売所として、また須金地区の産品や近隣の名産品も取り扱う、道の駅としての機能も今まで以上にパワーアップ！

ふれあいプラザ須金に是非お越し下さい。



(文/大木賢一)

錦川流域河川一斉清掃・もみじパーク草刈にご参加ください！！

主催 生きがいのある須金をつくる会、須金地区自治会連合会

日時 平成25年7月7日（日）午前8時30分より

集合 須金和紙センター前

持参器具 カマ、草刈り機、混合油等（ゴミ袋は用意します）

※この清掃について、今年から自治会内の回覧は行いませんのでご注意ください。



須金地区主な行事予定（6～7月）

6月

- 6月2日（日）小学校プール清掃
- 6月9日（日）それーねの日
- 6月11日（火）コミュニティ理事会
- 6月14日（金）高齢者福祉のつどい
ほたるのすがね（6/23まで）
- 6月15日（土）やまびこ号巡回

7月

- 7月8日（月）コミュニティ理事会
- 7月7日（日）錦川流域河川一斉清掃

「DEすがね掲示板」

★6月14日の高齢者福祉のつどいでスマートフォン体験会を行います。興味のある方は是非、ご参加ください！

★ウナギ捕りをみせていただける方、どなたか、いらっしゃいませんか？

★須金の皆さん。11月10日（日）の須金市日に出店しませんか？物販、飲食、展示など何でも構いません。出身者や関係者の出店もOKですよ。

お問い合わせは須金公民館 周山（すやま）まで
TEL 0834-86-2201 / FAX 0834-86-2145

須金せせらぎ短歌会～今月の一首～

陽を浴びて菜の花の黄は春の色
青空の下に群れて揺れ咲く
山縣佳代子

※DE すがね無料メール配信

メールでもこの情報誌は読めます！申し込み方法はdesugane@gmail.comへ配信希望と書いたメールをするだけ。励ましや感想もこのメールアドレスで受け付けています。

須金で育て、いま全国でがんばっている皆さんの元へ届けましょう！



特別連載 須金歴史探訪

兼子様 その二

文 高橋 勝己

しかし陶の時代は長くは続かず、^{すえはる}厳島で陶晴賢は^{かた}毛利元就に敗れ、ついで、その一族は長徳の龍文寺にて滅ぼされました。最後に残った残党、山崎伊豆守らも須々万の沼城において最後の抵抗を試みたものの、弘治3年（1557年）3月3日、攻落されたのでした。

この兼子様は金子周防守が陶軍との戦いにおいて、敵の矢が耳に当たり、耳を長く患って死んだため、耳の病気を治す神として祀られたものです。傍の河川敷に^{だいかんいわ}代官岩という大きな岩があります。これは金子周防守が陶軍と川を挟んで相対し、最後までこの岩に立って戦ったといわれています。



写真：合戦が行われた河原

編集後記

山の緑が勢いよく生長し、初夏らしい日差しと気温に何となく外遊びしたくなる今日この頃。こんな環境で子供を育てられる幸せに感謝。やっぱり、須金っていいところです。

（福田陽一）